

銘柄分析レポート：いぶし銀ファンド（2022年版）

1 はじめに

私が勝手に「いぶし銀ファンド」と呼んでいる株式投信があります。苦瓜達郎氏の運用している大和住銀日本小型株ファンドです。

長らく良好な成果を上げてきたこのファンドも、直近1年間のパフォーマンスは1.2%にとどまりました。それでも小型株の市況を考慮すれば、十分に健闘したのではないのでしょうか。

苦瓜氏は、6月10日付の運用報告書にて、次のように述べています。

当ファンドの投資対象である小型割安株はここ数年間放置されてきたため、PERーケタの銘柄が多く、諸々のリスク要因を考慮しても十分に魅力的な投資対象と考えています。

このまま株式市場全体が安定すれば、反発が続く可能性は高いと考えています。当ファンドでは、今後も割安株投資を徹底します。

目先のパフォーマンスを追わず、投資方針を堅持する姿勢は立派です。

今回の銘柄分析レポートでは、この「いぶし銀ファンド」の投資銘柄の中から2銘柄を取り上げます。

★大和住銀日本小型株ファンド 当期中の基準価格と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参考指数) JASDAQ INDEX		(参考指数) 東証スタンダード市場指数 (配当込み)		株 式 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2021年6月10日	円	%		%		%	%
2021年6月10日	19,569	—	184.54	—	—	—	98.1
6月末	19,405	△ 0.8	187.63	1.7	—	—	91.9
7月末	19,574	0.0	185.39	0.5	—	—	94.8
8月末	20,007	2.2	188.44	2.1	—	—	94.8
9月末	20,832	6.5	191.17	3.6	—	—	93.9
10月末	20,522	4.9	186.27	0.9	—	—	94.8
11月末	19,872	1.5	179.61	△ 2.7	—	—	94.6
12月末	20,476	4.6	176.69	△ 4.3	—	—	94.7
2022年1月末	19,274	△ 1.5	160.34	△13.1	—	—	95.0
2月末	19,163	△ 2.1	161.79	△12.3	—	—	94.4
3月末	19,914	1.8	164.75	△10.7	—	—	94.0
4月末	19,399	△ 0.9	—	—	965.51	— ^{※1}	94.2
5月末	19,470	△ 0.5	—	—	968.29	— ^{※1}	93.8
(期 末) 2022年6月10日							
2022年6月10日	19,796	1.2	—	—	984.18	— ^{※1}	94.4